

【資料1-1】

(1) 令和7年度水道事業会計の予算について

水道事業

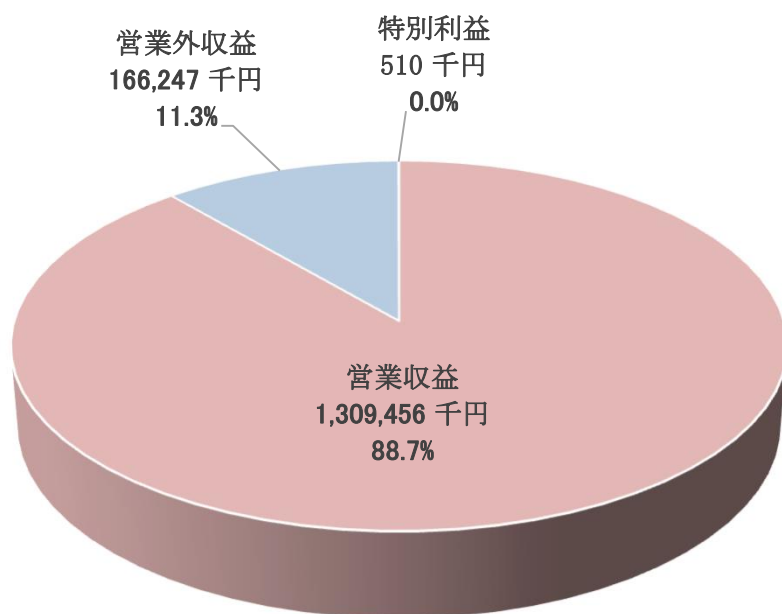
収益的収入（3条予算）

予定額 1,476,213千円

収益的支出（3条予算）

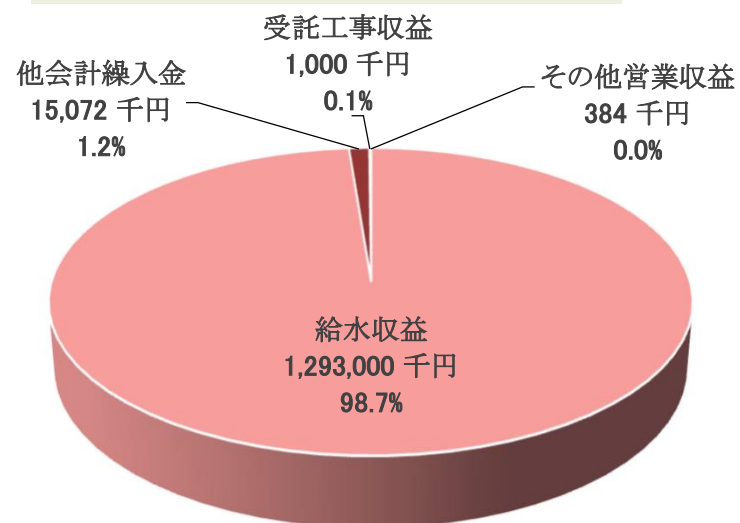
予定額 1,442,412千円

- 収益的収入は営業収益・営業外収益・特別利益で構成されています。
収入の約9割を営業収益が占めています。



	令和7年度 予算額 (千円)
営 業 収 益	1,309,456
給 水 収 益	1,293,000
そ の 他 の 収 益	16,456
営 業 外 収 益	166,247
長期前受金戻入	156,215
消費税還付金	3,370
そ の 他 の 収 益	6,662
特 別 利 益	510
合 計	1,476,213

水道事業 営業収益の構成



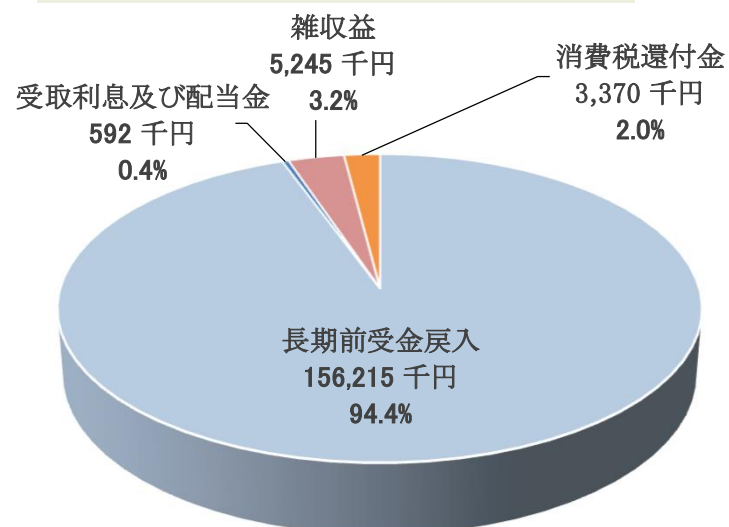
●営業収益

営業収益の約99%が水道料金となっており、次に消火栓の管理料である他会計繰入金となっています。

●営業外収益

営業外収益の約94%が長期前受金戻入となっています。

水道事業 営業外収益の構成



※長期前受金戻入・償却資産の取得または改良に伴い交付される補助金などについては「長期前受金」として負債(繰延収益)に計上し、減価償却見合分を収益化しているものです。

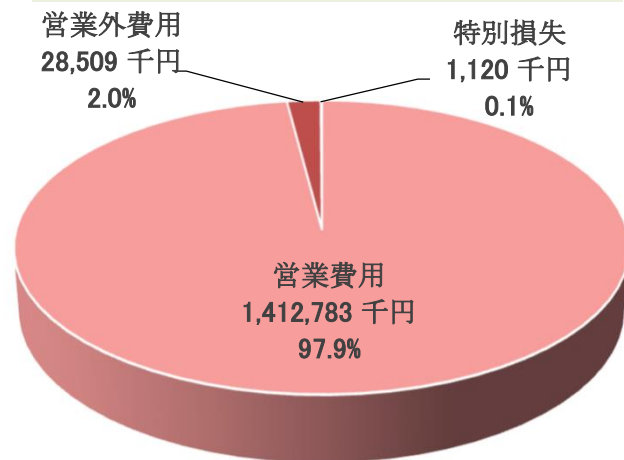
水道事業 特別利益の構成

	予算額(千円)
固定資産売却益	10
過年度損益修正益	500

●特別利益

特別利益は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した利益を計上するものとなっています。

水道事業 費用の構成



●営業費用

営業費用のうち原水及び浄水費は約56%を占めています。そのうち、約77%は受水費(県からの水道水の購入費用)となっています。次に減価償却費、配水及び給水費、総係費となっています。

●営業外費用

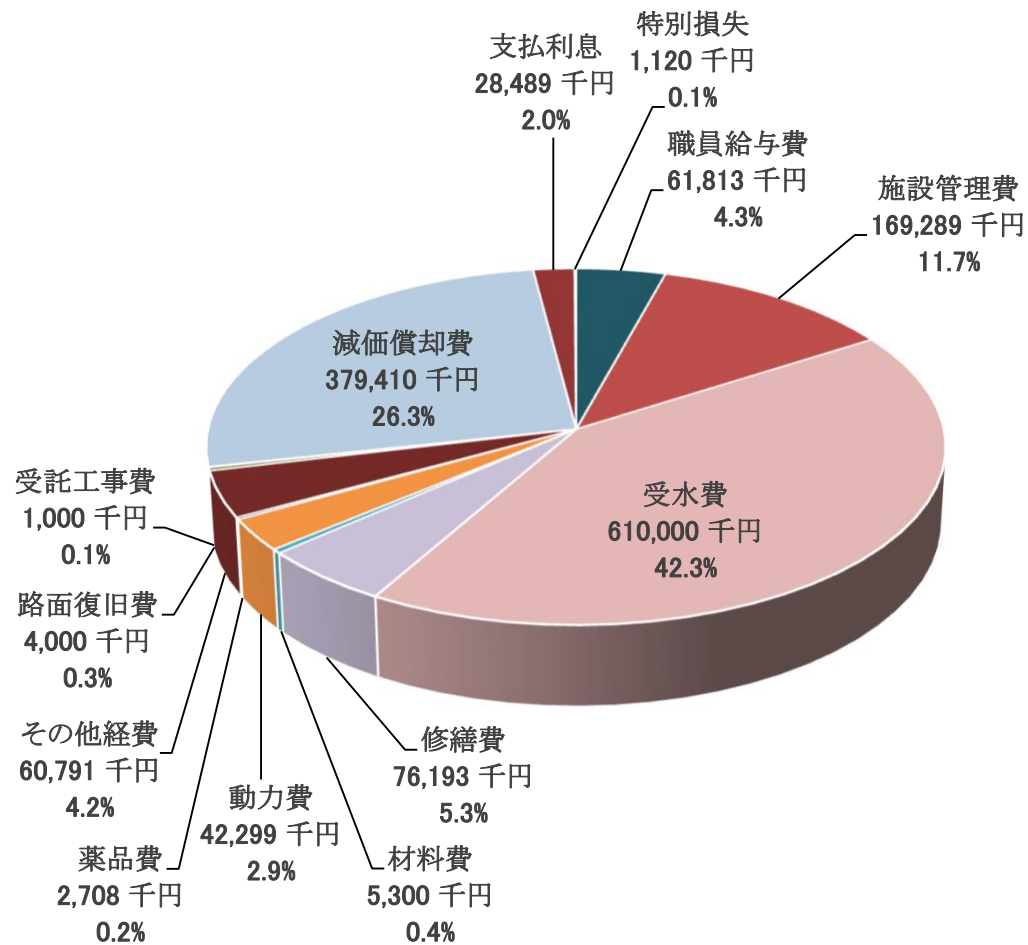
営業外費用のほとんどが企業債支払利息となっています。

●特別損失

特別損失は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した損失を計上するものとなっています。

	予算額(千円)
営業費用	1,412,783
営業外費用	28,509
特別損失	1,120

水道事業 費用要素別構成



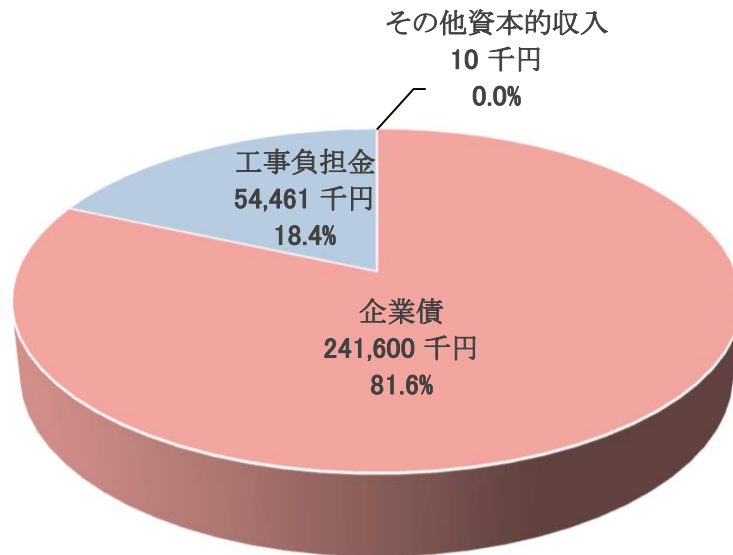
区 分	予算額 (千円)
職員給与費	61,813
施設管理費	169,289
受水費	610,000
修繕費	76,193
材料費	5,300
動力費	42,299
薬品費	2,708
その他経費	60,791
路面復旧費	4,000
受託工事費	1,000
減価償却費	379,410
支払利息	28,489
特別損失	1,120
合 計	1,442,412

水道事業

資本的収入 (4条予算)

予定額 296,071千円

水道事業 資本的収入の構成



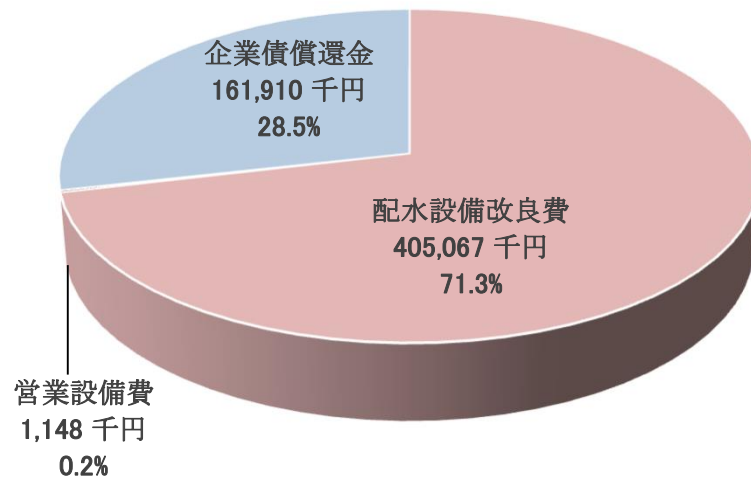
●資本的収入は企業債・他会計出資金・工事負担金・その他資本的収入で構成されています。

●資本的収入の内訳の大部分を企業債が占めており、次に水道加入申込金、土木建設課からの舗装工事負担金となっています。

	予算額(千円)
企 業 債	241,600
工 事 負 担 金	54,461
そ の 他 資 本 的 収 入	10

水道事業
資本的支出 (4条予算)
予定額 568,125千円

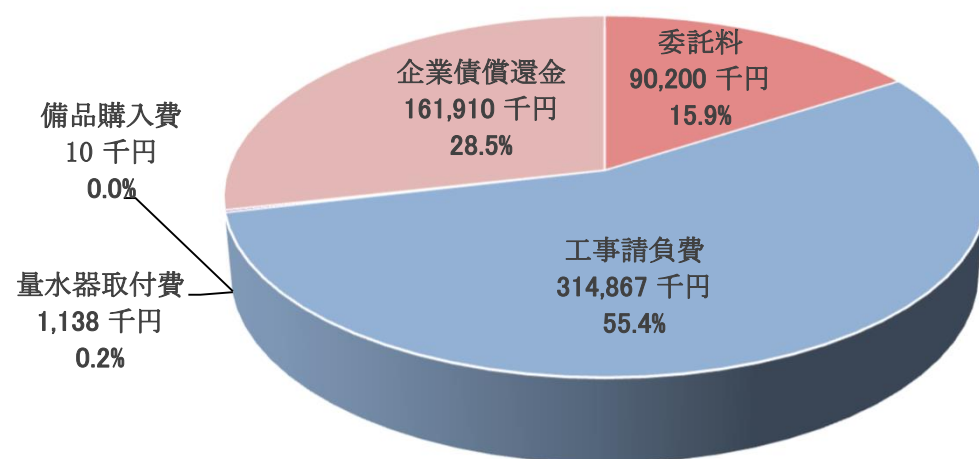
水道事業 資本的支出の構成



	予算額(千円)
配 水 設 備 改 良 費	405,067
営 業 設 備 費	1,148
企 業 債 償 還 金	161,910

- 資本的支出は建設改良費・企業債償還金で構成されています。
- 資本的支出の内訳は、配水設備改良費の工事請負費が大部分を占め、次に企業債償還金となっています。
- 資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、消費税資本的収支調整額及び減価償却費等を原資とする損益勘定留保資金で補填することとなります。

水道事業 資本的支出要素別構成



区 分	予算額 (千円)
委託料	90,200
工事請負費	314,867
量水器取付費	1,138
備品購入費	10
企業債償還金	161,910
合 計	568,125

水道事業 企業債現在高の推移

(単位:百万円)

年度	平成 26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
年度末 現在高	2,611	2,620	2,729	2,954	3,074	3,139	3,212	3,228	3,399	3,489	3,516

年度末現在高

